

## 1. 園の教育目標

遊びを中心とした豊かな活動により

「かんじる心 ちょうせんする心 げんきいっぱいさゆりっこ」

になって楽しい園生活を送る

- (1) 気持ちよくあいさつをする子どもに（挨拶）
- (2) 考えて行動する子どもに（たくましさ）
- (3) 様々な実体験を通して心豊かな子どもに（情操）

## 2. 本年度の重点目標

- (1) 体を動かし、心も身体も元気に
- (2) 自然と友だちになって楽しむ
- (3) あいさつ、ありがとうで、みんないい気持ち

## 3. 自己評価

A…十分達成されている

B…達成されている

C…取り組んでいるが、成果が十分でない

D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	B
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	B
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	A
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	A
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	B
研修（資質向上への取組）	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	A
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	B
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	B
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	B
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	A
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	A
保護者・地域住民との連携	・PTA や学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。	A
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	A
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	A

## 4. 学校関係者評価委員（モニター会）からの評価

- ・教育目標に向けての園の取り組みは、大方保護者に伝わっていて、その成果も出ており概ね満足をしていると思われる。
- ・教育課程についての職員の共有化の面が少し弱いのは、子どもの主体的な活動をより願うという新たな方向が進められているところであるからだと分かった。今後より園内で共通理解をして、園児の主体的な取り組みを進めて欲しい。

## 5. 今年度の総合的な園評価と次年度への課題

- ・保護者の皆さんも、概ね本園の取り組みが分かって来ており、豊かな活動や経験が大切であることを感じていただいているように思える。
- ・「自分から」といった主体性をより高めるための活動を求め、今後も「子ども理解」とともに「身近な環境づくり」を工夫して進めることが必要である。そのためにも、園児一人ひとりの成長を感じとり蓄積していくことを大切に考えたい。